

平成28年度 第10回政策推進会議報告

日時 9月5日 13時30分～15時12分

場所 4-1会議室

出席者 22人

1 次期尼崎市議会定例会市長提出予定案件について

企画財政局長から資料に基づき報告。

2 尼崎市立地適正化計画（素案）に対する市民意見公募手続きの実施について

企画財政局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・6月の立地適正化計画の説明時にはJR尼崎駅の南側についての説明は無かったが、それ以後に状況が急激に変化し、これについても一定考え方を整理する必要が生じたため、今回、立地適正化計画の別冊と位置づけたという理解で良いか。

元々JR尼崎駅の南側の考え方について内部で考えは持っていたが、公表されておらず、立地適正化計画の策定に合わせてしっかり公表できるものになるよう進めてきた。JR尼崎駅の南側に誘導するという詳細な方針を示すために立地適正化計画と合わせて作業を進めていたが、政策調整部会ではなく、土地利用委員会に諮って議論を進めてきたところであり、特別の事情により急にこれを策定するものではない。

（岩田副市長）商工会議所を始めとして、様々な団体からJR尼崎駅の南側の土地利用の変化についての要望を受け、土地利用についての検討を行っていたところに、立地適正化計画の話が出てきたため、合わせて進めたほうが適切ではないかということで同時に進めてきた。また、駅周辺の中でもJR尼崎駅の南側は大きな課題であったため、この機を捉えて土地利用委員会で整理したものである。

- ・資料「JR尼崎駅周辺（南地区）の土地利用誘導方針（素案）」7ページの図7について、現東警察署の用地がもうすぐ市に返ってくるが、平成29年度中に都市計画の見直しを行い、指定容積率が平成29年度中に分かるという理解でよいか。

そのとおりである。

（市長）JR尼崎駅の南側について、もう少し良い使い方ができるのではという声は今までもあり、しっかりと方針を公表して民間事業者の活力いただきながら整備を進めていくことが健全なあり方だということで、今回公表することとした。

3 平成29年度予算編成方針について

企画財政局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

（市長）施策評価を基に、全ての施策において積極的な見直しを行ってほしい。また、プロジェクトの中間年であり、29億の先行会計繰出金を除き、予算ベースで収支均衡を目指すこと

が中間地点での大きな目標である。目標達成に向け、よろしくお願ひしたい。

4 平成 29 年度主要事業（新規拡充・改革改善）策定に係る「基本情報」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

企画財政局長から資料に基づき報告。

5 若葉小学校・啓明中学校敷地の土地活用方針（素案）に対する市民意見公募手続の実施について

資産統括局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

（市長）東高校の跡地は、特養になるのか。

その通りである。

（市長）介護保険の事業計画との整合性は取れているのか。

調整しながら進めている。

（市長）年度途中になると、業者の募集の際等にややこしくなるのでは。

東高校の件が遅れているため、考えられる。

（市長）スケジュール的に民間事業者に影響が出てくる可能性もあり、立て込んでくると心配である。

・大庄は特養が集積している。

園田も集積しており、大きい土地が残っていたことなどで、箇所数は園田が一番多い。

（市長）募集は東高校のほうが先か。

弥生時代の土器が発掘され、今その調査を進めているところであることと、極微量ではあるが土壌汚染が出てきており、今から深さの調査を行うところである。結果によってはスケジュールが大幅に変わってくることとなるため、明確に言える状況でない。

6 その他

・企画財政局長から、尼崎市市制 100 周年記念事業スケジュール（9・10月）について説明。

以 上